

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道495号 <small>たけなみ</small> 竹並バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	北九州市
起終点	北九州市若松区大字頓田 <small>わかまつく とんだ</small> ～大字蟹住 <small>あまずみ</small>	延長	4.5 km		
事業概要	一般国道495号竹並バイパスは、響灘地区から福岡市方面へのアクセス機能を強化でき、物流効率の向上及び輸送コストの削減等による国際競争力の強化を目的とした、北九州市若松区大字頓田から同市同区大字蟹住に至る延長約4.5kmの6車線（暫定4車線）～4車線の道路である。				
H10年度事業化	S49年度都市計画決定	H12年度用地着手	H10年度工事着手		
全体事業費	76億円	事業進捗率	87%	供用済延長	2.3km
計画交通量	24,700台/日				
費用対効果分析結果	B/C： <small>（事業全体）</small> 2.6 <small>（残事業）</small> 17.4	総費用： <small>（残事業）/（事業全体）</small> 6.3/98億円 （事業費：2.3/94億円 維持管理費：4.0/4.0億円）	総便益： <small>（残事業）/（事業全体）</small> 109/256億円 （走行時間短縮便益：96/205億円 走行費用減少便益：6.4/24億円 交通事故減少便益：6.1/28億円）	基準年： 平成19年	
感度分析の結果	交通量変動（±10% B/C1.5～3.8） 事業費変動（±10% B/C2.4～2.9） 事業期間変動（±2年 B/C2.4～2.8）				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（隣接市町とのアクセス、周辺事業の支援） ・物流機能の向上 				
関係する地方公共団体等の意見	一般国道495号は、近隣市町と本市を結ぶアクセス道路であり、また、響灘臨海開発や、北九州学術研究都市整備事業の拠点開発を支援する道路であり、さらに国道199号の渋滞緩和に必要な道路として地元からも早期整備の要望が強い道路である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	本路線の約2.3kmは、周辺関連事業支援目的としてH17.4に供用開始したが、地元より改善要望の強い見通しの悪い道路や、通学路の狭い歩道の整備が残されており、鋭意整備を進めている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	進捗率87%（H18年度末現在） H17年度に約2.3kmの供用開始 平成20年度までに用地取得を完了し、平成22年度供用開始に向け工事を行う。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成20年度までに用地取得を完了し、平成22年度 of 全線供用開始を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	建設発生土の有効利用（他工事間の流用等）によりコスト縮減を図る。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況から勘案すれば当初の事業の必要性、重要性は変わらないものとする。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。